

JBMS

大判インクジェットプリンターの 基本仕様記載様式

Large format inkjet printer – Basic specification description form

JBMS-94 : 2026

令和 8 年 2 月制定
(February, 2026)

一般社団法人 ビジネス機械・情報システム産業協会
Japan Business Machine and Information System Industries Association

大判インクジェットプリンター部会 基本仕様記載項目標準化 TF 委員構成表

(リーダー)	伊藤 徹 郎	ブラザー工業株式会社
(サブリーダー)	増田 智 美	ローランド ディー.ジー.株式会社
(委員)	二宮 護	キヤノン株式会社
	森 雅 和	コニカミノルタ株式会社
	原 田 智 充	株式会社ミマキエンジニアリング
(事務局)	坂本 敬 康	一般社団法人 ビジネス機械・情報システム産業協会
	冠野 博 信	一般社団法人 ビジネス機械・情報システム産業協会

業界標準化委員会 JBMS 推進 TF 委員構成表

(委員長)	米 山 剛	コニカミノルタ株式会社
(委員)	大塚 晃 次	富士フイルムビジネスイノベーション株式会社
	本 橋 敦	株式会社リコー
(事務局)	渡 辺 靖 晃	一般社団法人ビジネス機械・情報システム産業協会

規格番号：JBMS-94

制 定：令和8年2月12日

原案作成：大判インクジェットプリンター部会 基本仕様記載項目標準化 TF

審 議：一般社団法人 ビジネス機械・情報システム産業協会 業界標準化委員会 JBMS 推進TF

制 定：一般社団法人 ビジネス機械・情報システム産業協会 業界標準化委員会

この規格についての意見又は質問は、一般社団法人 ビジネス機械・情報システム産業協会 業界標準化委員会へお願いいたします。

〒108-0073 東京都港区三田 3-4-10 リーラ ヒジリザカ 7階 Tel 03-6809-5010 (代表)

目 次

	ページ
序文 (Introduction)	1
1 適用範囲 (Scope)	1
2 引用規格 (Normative references)	2
3 用語及び定義	2
4 記載ルール	4
5 基本仕様に記載する情報	6
附属書 A (参考) 大判インクジェットプリンターの基本仕様記載様式	11
解説	13

まえがき Foreword

この規格は、著作権法で保護対象となっている著作物である。

この規格の一部が、特許権、出願公開後の特許出願又は実用新案権に抵触する可能性があることに注意を喚起する。一般社団法人ビジネス機械・情報システム産業協会は、特許権、出願公開後の特許出願及び実用新案権に関わる確認について、責任はもたない。

This standard is copyrighted work protected by copyright laws.

Attention should be drawn to the possibility that a part of this Standard may conflict with a patent right, application for a patent right after opening to the public or utility model right which have technical properties. The Japan Business Machine and Information System Industries Association is not responsible for identifying the patent right, application of a patent right after opening to the public and utility model right which have the technical properties of this kind.

ビジネス機械・情報システム産業協会規格

Japan Business Machine and Information
System Industries Association Standard

JBMS-94:2025

大判インクジェットプリンターの 基本仕様記載様式

Large format inkjet printer – Basic specification description form

序文 (Introduction)

現在、各社の大判インクジェットプリンター製品においてカタログに記載されている内容、文言は各社ばらばらであり、同じ文言で記載している項目においても各社独自の基準によって条件が異なる内容にて記載されているため単純比較が難しい。

この規格は、お客様がカタログにより各社製品の仕様を容易に横並べ比較できる様にするために **JBMIA-TR-39** を基にカタログに記載する基本仕様の項目記載内容順序等を明確に規定し、業界標準として規格化するために制定する。

また **JBMIA-TR-39** には項目として挙げていないが、近年お客様の関心が高い環境に対する取り組み内容もカタログの項目として追加した。

Currently, the contents and wording in the catalogs of large-format inkjet printers from various companies are different, and even items with the same wording are described under different conditions according to each company's own standards, making simple comparisons difficult. This standard is established based on JBMIA-TR-39 to clearly define the items, contents, order, etc. of basic specifications to be described in catalogs and to standardize them as industry standards, so that customers can easily compare the specifications of each company's products in the catalogs. In addition, although not listed as an item in JBMIA-TR-39, we have added as an item in the catalog the details of our environmental initiatives, which have been of great interest to our customers in recent years.

1 適用範囲 (Scope)

この規格は、グラフィックス、CAD/GIS、テキスタイル、サインエージ分野の大判インクジェットプリンターに関するカタログの記載事項及びカタログの記載事項記入要領について規定する。また、この規格は、ガーメントプリンターにも適用可能である。

注記 カタログは紙に印刷したものであり、基本仕様を記載するために十分な印刷領域が確保されている。

This standard specifies cataloging and catalog entry requirements for large format inkjet printers in the graphics, CAD/GIS, textile, and signage industries. This standard is also applicable to garment printers.

2 引用規格 (Normative references)

この規格には、引用規格はない。

There are no normative references in this document.

3 用語及び定義

この規格で用いる主な用語及び定義は、次による。

3.1 大判インクジェットプリンター

対応用紙幅が、432 mm (17 インチ) 以上のインクジェット方式プリンター

注釈 1 用紙幅が 432 mm のものは、一般に “A2 ノビ” と呼ばれている。

3.2 ガーメントプリンター

衣類やバッグなどの布製品に直接インクを塗布して印刷を行うことができるプリンター

3.3 ソルベントインク

顔料を有機溶剤に分散させたインク

3.4 エコソルインク

揮発性有機化合物 (VOC) の排出が少なく、環境への影響を軽減した溶剤インク

3.5 プライマーインク

印刷の際に使用される下地処理用のインク

注釈 1 主にインクの密着性を向上させるために使用される。

3.6 プラテン (Platen)

印刷機やその他のプレス機械において、印刷対象物 (紙や布など) を支持し、印刷や圧力を加えるための部材

3.7 プラテン送り方式

プラテンが移動することで印刷する方式

3.8 ギャップ

印刷対象物の上面からノズル面までの距離

3.9 プラテンギャップ

ヘッド吐出面からプラテンまでの距離

3.10 ドロップサイズ

吐出したインク滴の空中での大きさ

3.9 ロール紙

巻形状の印刷用紙

3.10 カット紙

単票紙のこと

注釈 1 ロール紙からカットされることが語源となっている。

3.11 ASF(Auto Sheet Feeder)

プリンターにおいて用紙を自動的に供給する機構

3.12 フラッドベッド (FB, Flatbed)

原稿や印刷物を平らな面に置いて印刷する方式

3.13 印刷推奨環境

各社が印刷動作を推奨する環境

3.14 動作可能環境

印刷動作可能な環境

注釈 1 この規格では、画質を問わない。

3.15 ピエゾインクジェット方式

圧電素子でインクを噴射する方式

3.16 サーマルインクジェット方式

熱でインクを噴射する方式

3.17 シリアルヘッド方式

印刷物の幅をヘッドが移動し、端まで印刷したら少しずつ印刷物を送りながら全体を印刷する方式

3.18 ラインヘッド方式

印刷幅分のヘッドに印刷物を通すことで全体を印刷する方式

3.19 マットブラックインク

マット紙に適した黒インク

3.20 フォトブラックインク

写真用紙に適した黒インク

4 記載ルール

a) 項目の記載方法について

各社カタログの基本仕様要素である“分類”，“項目”のうち，R（必須）項目を順序通りに，O（任意）項目は各社任意記載とする。S（選択）項目は、項目の中から一つ以上の項目を選択して記載する。

b) 項目の追加について

表1の分類・項目以外に記載が必要な項目は，追加をしてもよい。

“分類”：2項目程度

“項目”：追加数の制限なし

ただし，既存の“分類”及び“項目”の順序の入れ替えは，してはならない。

c) 項目名について

“項目”欄の項目名に括弧“()”がついているものは，記載する内容を示しており，項目名を省略することが可能である。

例1 (項目名を省略した例)

インク	(種類)	染料インク	⇒	インク	染料インク
	(容量)	500 ml			各色500 ml
	(供給方式)	インクタンク方式			インクタンク方式

d) 複数の名称のある分類について

“給紙方法/給材方法”，“対応用紙/対応メディア/対応布/対応プラテン”など，複数の名称が記載されている分類については，そのうちの不要な名称を削除して記載してもよい。

e) 任意記載について

各項目の任意記載項目は，一つの欄にまとめて記載することが可能である。

例2 (項目を一つの欄にまとめた例)

電源	電圧：V	AC 200-240 V	⇒	電源	AC 単相 200-240 V 50/60 Hz
	周波数：Hz	50/60 Hz			
	単相・3相	単相			

f) 準拠文の記載について

次の準拠文を，一覧表の下方，及び，欄外項目表の上方に記載する。

<準拠文>

※本カタログは，JBMS-94 に準拠しています

g) 注釈について

注釈は，準拠文の下方に記載してもよい。

h) 欄外項目表について

表 1 以外の項目については、準拠文よりも下方に、欄外項目表として記載してもよい。欄外項目表について、表の有無、名称、項目名、項目数、記載内容、記載フォーマットなどは、特に定めない。

i) 項目欄について

項目欄（分類、項目）は、右側にも記載してもよい。

j) 単位について

- 1) “対応用紙/対応メディア/対応布/対応プラテン” だけ
mm だけでも、inch だけでも良い。併用することも可能である。

例 3

8 inch (203 mm)

10" x 12"

- 2) “対応用紙/対応メディア/対応布/対応プラテン” 以外
SI 単位（温度は、℃）を必須とし、先頭に記載する。他の単位を併記してもよい。

例 4

100 kg (220 lbs)

k) 価格について

価格を記載する場合は、一覧表の最上部または一覧表の最下部に記載する。

5 基本仕様に記載する情報

表 1-基本仕様に記載する情報

分類	項目	R (必須) O (任意) S (選択)	記載事項	記載要領及び記載例
1 印刷方式	印刷方式	R	インクジェット方式を必須とする。	・ピエゾインクジェット方式、サーマルインクジェット方式など ・スキャン型/シングルパス型など
2 ヘッド			2.1~2.4の中から選択して記載する。	
	2.1 (ヘッド構成)	S		1行にまとめて記載してもよい。 ヘッド型式を記載してもよい。 例 J-1200 ヘッド 2個
	2.2 (ヘッド個数)	S		
	2.3 (ノズル数)	S		
2.4 (ドロップサイズ)	S	インクのドロップサイズを単位 (pl) で記載する。		
3 解像度	3.1 (最高解像度)	R	印刷物上での主走査及び副走査の解像度 (dpi) を記載する。	印刷物上での最高解像度とする。 例 標準モード 600 dpi 高画質モード 1200 dpi
	3.2 (各モードの解像度)	O	各モードの主走査及び副走査の解像度 (dpi) を記載する。	
4 インク	4.1 (種類)	R	印刷可能なインクの種類を記載する。	種類 (顔料インク, 染料インク, エコソルインク, ソルベントインク, など)
	4.2 色数	R	一度の印字で画像を形成している最大色数を記載する。	・クリアインクは色数に含める。 ・プライマーインクのような下地は色数に含めない。 ・マットブラックインク, フォトブラックインクは, 1色とカウントしてもよい。
	4.3 (容量)	O	インクタンクの容量を記載する。単位は, ml 又は L とする。	色種類 (CMYK 等) ごとの容量を記載してもよい。
	4.4 (供給方式)	O	インクの供給方式を記載する。	例 1 カートリッジ方式 例 2 タンク方式
5 給紙方式/給材方式	給紙方式/給材方式	O		・ロール紙/カット紙 /ASE/FB/プラテン送り方式など ・項目名はプリンターにより選択可能とする。
6 対応用紙/対応メディア/対応布/対応プラテン	6.1 サイズ	R	6.1.1~6.1.6の中から選択して記載する。	
	6.1.1 最大幅/最大長	S	最大幅又は, 最大幅及び最大長を記載する。 単位は, ミリメートル (mm), メートル (m), インチ (inch) のいずれを使用してもよい。また, 単位を併記してもよい。	例 1 917 mm (36 inch) 例 2 610 mm × 458 mm

6.1.2 最小幅/最小長	S	最小幅又は、最小幅及び最小長を記載する。 単位は、ミリメートル (mm)、メートル (m)、インチ (inch) のいずれを使用してもよい。また、単位を併記してもよい。	例 1 203 mm (8 inch) 例 2 203 mm × 203 mm
6.1.3 (最小幅～最大幅) / (最小長～最大長)	S		例 1 最小 203 mm～最大 907 mm 例 2 最小 203 mm～最大 18 m
6.1.4 ロール径	S	内径・外径分けて記載してもよい。 単位は、ミリメートル (mm)、インチ (inch) のいずれを使用してもよい。また、単位を併記してもよい。	例 最大外径 150 mm
6.1.5 重量/質量	S	本体重量を記載する。単位は、キログラム (kg) で記載する。	例 130 kg
6.1.6 プラテンサイズ	S	プラテンサイズを記載する。 単位は、ミリメートル (mm)、インチ (inch) のいずれを使用してもよい。また、単位を併記してもよい。	例 1 270 mm × 1 300 mm
6.2 厚さ		6.2.1～6.2.5 の中から選択して記載する。	
6.2.1 最大	S	印刷対象メディアの最大厚さを記載する。 単位は、ミリメートル (mm)、インチ (inch) のいずれを使用してもよい。また、単位を併記してもよい。	例 最大厚さ 204 mm
6.2.2 最小	S	印刷対象メディアの最小厚さを記載する。 単位は、ミリメートル (mm)、インチ (inch) のいずれを使用してもよい。また、単位を併記してもよい。	例 最小厚さ 0.1 mm
6.2.3 (最小厚さ～最大厚さ)	S		例 最小 0.1 mm～最大 1.0 mm
6.2.4 (ギャップ)	S	印刷対象物の上面からノズル面までの距離を記載する。 単位は、ミリメートル (mm)、インチ (inch) のいずれを使用してもよい。また、単位を併記してもよい。	
6.2.5 (プラテンギャップ)	S	プラテンからノズル面までの距離を記載する。 単位は、ミリメートル (mm)、インチ (inch) のいずれを使用してもよい。また、単位を併記してもよい。	

7 印刷領域/印刷可能領域	7.1 (最大幅/最大範囲)	R	印刷可能な領域の最大幅又は最大範囲を記載する。 単位は、ミリメートル (mm)、インチ (inch) のいずれを使用してもよい。また、単位を併記してもよい。	例 1 (最大印刷可能幅) 900 mm 例 2 (最大印刷可能領域) 640 mm × 488 mm
	7.2 (最小幅/最小範囲)	O	印刷可能な領域の最小さい幅又は最小範囲を記載する。 単位は、ミリメートル (mm)、インチ (inch) のいずれを使用してもよい。また、単位を併記してもよい。	例 1 (最小印刷可能幅) 203 mm 例 2 (最小印刷可能領域) 100 mm × 100 mm
	7.3 (マージン/余白)	O	印刷対象メディア端部からの印刷不可能な領域を記載する。 単位は、ミリメートル (mm)、インチ (inch) のいずれを使用してもよい。また、単位を併記してもよい。	例 1 右マージン：3 mm 左マージン：3 mm 例 2 上下左右：20 mm 書ききれない場合には欄外適用とし、“※”などでその旨を記載する。
8 インターフェイス	インターフェイス	R	通信を行う仕組み及びその規格名称を記載する。	例 1 USB2.0 Hi-speed 例 2 10Base-T, 100Base-TX, 1000Base-T
9 外形寸法 (W×D×H)	9.1 (本体サイズ/寸法)	R	本体だけの寸法について、幅、奥行及び高さをセンチメートル (cm)、ミリメートル (mm) 又はインチ (inch) の単位で、この順序に記載する。	数値の前に“約”を記載してもよい。 例 1 2 520 mm × 748 mm × 1 370 mm 例 2 98 cm × 75 cm × 44 cm
	9.2 (梱包サイズ)	O	梱包時の寸法について、幅、奥行及び高さをセンチメートル (cm)、ミリメートル (mm) 又はインチ (inch) の単位で、この順序に記載する。	数値の前に“約”を記載してもよい。
	9.3 (オプション込みサイズ)	O	オプション装着時の寸法について、幅、奥行及び高さをセンチメートル (cm)、ミリメートル (mm) 又はインチ (inch) の単位で、この順序に記載する。	数値の前に“約”を記載してもよい。 例 スタンド装着時：978 mm × 756 mm × 1 060 mm
10 重量/質量	10.1 本体 (インク, ○○を含めない)	R	インク、メディアなどを含めない本体だけの重量をキログラム (kg) の単位で記載する。	数値の前に“約”を記載してもよい。 例 約 63.8 kg
	10.2 オプション装着時	O	インク、メディアなどを含めない重量をキログラム (kg) の単位で記載する。	
11 設置条件/動作環境	11.1 電源	R		
	11.1.1 電圧	R	電圧 (V) 及び周波数 (Hz) を記載する。	範囲で記載してもよい。 例 1 AC 100 V (50/60 Hz) 例 2 単相 (AC100~120 V/200~240 V±10%) ×2, 50/60 Hz±1 Hz
	11.1.2 電流	O	電流 (A) を記載する。	

11.1.3 周波数	O	交流電圧の周波数 (Hz) を記載する。	範囲で記載してもよい。 例 単相 (AC100~120 V/200~240 V ± 10%) × 2, 50/60 Hz ± 1 Hz
11.1.4 単相・3相	O	交流電圧の相数を記載する。	例 単相 (AC100~120 V/200~240 V ± 10%) × 2, 50/60 Hz ± 1 Hz
11.1.5 電圧許容範囲 (公差)	O	電圧の許容範囲を記載する。	例 単相 (AC100~120 V/200~240 V ± 10%) × 2, 50/60 Hz ± 1 Hz
11.2 消費電力			
11.2.1 最大	O	実使用時における最大消費電力をワット (W) の単位で記載する。	測定条件を記載してもよい。
11.2.2 動作時	R	動作時の消費電力をワット (W) の単位で記載する。 消費電力は、平均値又はピーク値のどちらでもよい。	測定条件を記載してもよい。 また、欄外へ記載してもよい。
11.2.3 待機時	O	待機時の消費電力をワット (W) の単位で記載する。 消費電力は、平均値又はピーク値のどちらでもよい。	測定条件を記載してもよい。 また、欄外へ記載してもよい。
11.2.4 スリープ時	O	スリープ時の消費電力をワット (W) の単位で記載する。 消費電力は、平均値又はピーク値のどちらでもよい。	測定条件を記載してもよい。 また、欄外へ記載してもよい。
11.2.5 オフ時	O	オフ時の消費電力をワット (W) の単位で記載する。 消費電力は、平均値又はピーク値のどちらでもよい。	測定条件を記載してもよい。 また、欄外へ記載してもよい。
11.3 温湿度環境			
11.3.1 印刷推奨環境	R	推奨する印刷環境の温度 (°C) 及び相対湿度 (%) を記載する。	範囲で記載してもよい。 例 温度 15~30 °C, 湿度 10~80 %
11.3.2 動作可能環境	O	印刷動作が可能な環境の温度 (°C) 及び相対湿度 (%) を記載する。	範囲で記載してもよい。
11.4 保管環境	O	長期休みの場合の保管環境の温度 (°C) 及び相対湿度 (%) を記載する。	範囲で記載してもよい。 また、保管場所を記載してもよい。 例 倉庫
11.5 設置面積 (W×D)	O		

	11.5.1 (本体設置面積)	O	本体設置に必要な幅, 奥行の最大寸法をセンチメートル (cm), ミリメートル (mm) 又はインチ (inch) の単位で, この順序に記載する。	数値の前に“約”を記載してもよい。 図や絵などで表す場合には, “※”で欄外適用の旨を示す。 例 1 設置面積: 1 700 mm × 1 300 mm 例 2 設置面積: 150 cm × 100 cm
	11.5.2 (オプション装着時設置面積)	O	オプション装着時の設置に必要な幅, 奥行の最大寸法をセンチメートル (cm), ミリメートル (mm) 又はインチ (inch) の単位で, この順序に記載する。	
	11.6 設置推奨高度	O	設置を推奨する標高を単位メートル (m) で記載する。	例 標高 2 000 m 以下の場所に設置のこと
	11.7 圧縮空気			
	11.7.1 圧力	O	圧縮空気の圧力を単位 Pa で記載する。	測定条件を記載してもよい。 実使用値を記載する。
	11.7.2 量	O	圧縮空気の単位時間当たりの流量を記載する。単位は, L/h, L/min, m ³ /h, m ³ /min のどれを使ってもよい。	測定条件を記載してもよい。 実使用値を記載する。
	11.8 水供給			
	11.8.1 圧力	O	供給する水の圧力を単位 Pa で記載する。	測定条件を記載してもよい。 実使用値を記載する。
	11.8.2 量	O	供給する水の単位時間当たりの流量を記載する。単位は, L/h, L/min, のどれを使ってもよい。	測定条件を記載してもよい。 実使用値を記載する。
12 稼働音	12.1 動作時	O	動作時の A 特性音圧レベルを単位 dB (A) で記載する。	測定方法, 測定条件を記載してもよい。
	12.2 待機時	O	待機時の A 特性音圧レベルを単位 dB (A) で記載する。	測定方法, 測定条件を記載してもよい。
13 環境ラベル		O	表示している環境ラベルを記載する。	記載順, 年度表記, 記載方法は, 特に定めない。

附属書 A (参考) 大判インクジェットプリンターの基本仕様記載様式

この附属書は、大判インクジェットプリンターの基本仕様記載様式について記載する。

分類	項目				
印刷方式	-				
ヘッド	(ヘッド構成)				
	(ヘッド個数)				
	(ノズル数)				
	(Drop サイズ)	pl			
解像度	(最高解像度)	主走査	dpi	副走査	dpi
	(各モードの解像度)	主走査	dpi	副走査	dpi
インク	(種類)				
	色数				
	(容量)	ml mL l L			
	(供給方式)				
給紙方式 給材方式	-				

対応用紙 対応メディア 対応布 対応プラテン	サイズ	最大幅	mm		
		最大長	インチ inch		
		最小幅	mm		
		最小長	インチ inch		
		(最小幅～最大幅) (最小長～最大長)	mm インチ inch	～	mm インチ inch
		ロール径	mm インチ inch		
		重量 質量	kg		
	プラテンサイズ	mm インチ inch			
	厚さ	最大	mm インチ inch		
		最小	mm インチ inch		
		(最小幅～最大幅)	mm インチ inch	～	mm インチ inch
		(ギャップ)	mm インチ inch		
		(プラテンギャップ)	mm インチ inch		

印刷領域	(印刷可能領域)	(最大幅) (最大範囲)	mm インチ inch
		(最小幅) (最小範囲)	mm インチ inch
		(マージン) (余白)	mm インチ inch
インターフェイス	-		

外形寸法 (W×D×H)	(本体サイズ) (寸法)		mm cm インチ inch	
	(梱包サイズ)		mm cm インチ inch	
	(オプション込みサイズ)		mm cm インチ inch	
重量 質量	本体 (インク, ○○は含まない)		kg	
	オプション装着時		kg	
設置条件 動作環境	電源	電圧	V	
		電流	A	
		周波数	Hz	
		単相・3相	相	
		電圧許容範囲 (公差)	% V	
	消費電力	最大	W	
		動作時	W	
		待機時	W	
		スリープ時	W	
		オフ時	W	
	温湿度環境	印刷推奨環境	℃	%RH
		動作可能環境	℃	%RH
		保管環境	℃	%RH
	設置面積 (W×D)		mm cm インチ inch	
	設置推奨高度 (標高)		m 以下	
	圧縮空気	圧力	Pa	
		量	L/h L/min m ³ /hm ³ /min	
水供給	圧力	Pa		
	量	L/h L/min		
稼働音	動作時	dB (A)		
	待機時	dB (A)		
環境ラベル				

※本カタログは、JBMS-xxに準拠しています

大判インクジェットプリンターの基本仕様記載様式 解説

この解説は、本体及び附属書に規定・記載した事柄を説明するもので、規格の一部ではない。

1 制定の趣旨

基本仕様記載様式を検討することになった背景として、お客様が、大判インクジェットプリンターを選定する際、カタログなどに表記されている内容、測定方法が、メーカー毎に違っているために横並び検討ができず、選定に苦勞していたことがあげられる。そこで、大判インクジェットプリンターの参加委員にて、カタログなどの表記する項目、内容、測定方法に統一感を持たせることを検討することとなった。

2 制定の経緯

2018年に旧大判インクジェットプリンター部会基本仕様記載項目標準化分科会において、仕様書様式の規格化の検討を開始した。基本的な項目に関して合意した内容について、2024年に速報性の観点から **JBMA-TR-39**（大判インクジェットプリンターの基本仕様書様式）として発行した。

その後も継続して検討を重ねて、近年、お客様の関心が高い環境に対する取り組み内容も項目として追加した。

また、検討では、対象となるプリンターが、グラフィックス（プルーフ、フォトを含む）、CAD/GIS、テキスタイル、サイネージと用途が異なることから、記録する対象物（紙や布など）、搬送方式（シート搬送やロール搬送など）や前後処理（UV 定着や熱定着など）等、異なる項目が多かったため、標準化できる仕様を抽出することが困難だった。しかし、参加委員の前向きな検討、各社での調整、意見集約を行うことで、基本仕様一覧を **JBMS** として制定することができた。基本仕様一覧の作成に協力して頂いた委員の方々に感謝の意を表したい。

3 審議中に特に問題となった事項

仕様一覧を検討している中で、お客様に有用であるために一覧に盛り込みたい項目は多々あった。しかし、項目として盛り込むまでに、測定方法の標準化や社内での調整など、時間を要するものがあった。そこで、時間を掛けて仕様一覧の項目を充実させるのではなく、できるだけ早く、仕様一覧を標準化し、各社のカタログの横並び検討できるようにすることに注力したため、仕様一覧としては、基本的な項目となった。今後も時間を要するかもしれないが、お客様に有用な項目の追加に向け検討を継続する。

4 今後の活動

今、社会では環境問題が注目されている。大判インクジェットプリンターを使用するお客様は、このプリンターを製造装置として使用して、各種製品を生産することとなる。インクジェットプリンターは、従来の製造装置に比べ、環境に優しい製造装置であり、この利点をお客様に理解してもらうことが大事である。この **JBMS** において、環境ラベルを項目の1つとして挙げたが、各インクジェットプリンターが有している環境に対する利点を、お客様に理解しやすいように、仕様一覧に項目として

盛り込む検討を進める。

JBMS-94 大判インクジェットプリンターの基本仕様記載
様式

編集兼

林 祥一郎

発行人

発行所 一般社団法人 ビジネス機械・情報システム産業協会
〒108-0073 東京都港区三田 3-4-10 リーラ ヒジリザカ 7階
Tel 03-6809-5010 (代表)